

矢吹病院・クリニックの透析患者さん・ご家族の皆様

医療法人社団清永会 矢吹病院
理事長 矢吹清隆

新型コロナウイルス感染予防徹底をお願いいたします。

- 全国の透析施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しています。首都圏では透析患者でも入院できず、自宅待機になっています。
- 透析患者は重症化しやすく、酸素投与や人工呼吸器が必要になります。透析患者は自宅待機では急変のリスクが高いです。
- 矢吹病院でクラスターが出ると山形県の救急医療の崩壊に直結します。
- 救急医療が崩壊すると、助かる命も助からなくなります。透析医療だけではありません。交通事故、産科小児科救急などすべてが崩壊するのです。
- 毎朝、自宅での体温測定、体調の観察は必ず行ってください。体調が悪いときは、透析室まっすぐ来ないで、まず透析室に電話してください。別な場所できちんと診察しますので、安心してください。
- 他県への移動、他県からの来客との接触は可能な限り避けてください。
- マスク、手指消毒、3密を避ける、大声で話をしないなど、これまでの予防対策を継続しましょう。

みんなで一丸となってこの難局を乗り切って行きましょう。